

会報
臨時号

平成 28 年 (2016 年)
10 月 1 日発行
発行人 山口順司

シルバーだより

公益社団法人 立川市シルバー人材センター

会員数(平成 28 年 10 月 1 日現在)
1,660 名(男 1,207 名 女 453 名)
本部事務局 柴崎町 1-17-7
☎042-527-2204
錦支部 錦町 6-15-20
☎042-528-8041
砂川分室 砂川町 1-52-17
☎042-534-3222

事業の発展に尽し 沢田和夫会長急逝す



当センター会長の沢田和夫氏は、9月2日午後9時9分、急性心筋梗塞のため国立病院機構災害医療センターにおいて急逝されました。(享年91)

沢田会長は、古橋一徳元会長の後を受け、平成15年4月に第4代会長に就任されました。会長在任の13年間は、事業開拓・会員増強や適正就業、公益法人制度改正、派遣事業等取り組みべき課題が山積しておりました。その間、立川市老人クラブ連合会会長を務めるなど公私ともご多忙の中、理事会・事務局をまとめ、公益社団法人への移行、経営会議や広報部会の設置

など運営基盤の整

備に取り組みとと

もに、事業の開拓

に努め、公共関係

では競輪場清掃・

パソコン保守・広

報配布・サマー学

童・放課後ルーム

事業等の新規受託、

民間からは駐車場

管理や清掃作業等

の新規受託を実現し、平成27年度には9億円

を超える実績を初めて達成するなど都内でも

有数の実績と運営体制を築き上げられました。

その人柄は、温厚篤実で、また就業会員とし

ての経験を活かし、役職員はもとより会員の声

にも誠実に対応し、誰もが慕い尊敬する存在で

ありました。

ここに深く感謝の意を表し、謹んで心からの

ご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

沢田和夫前会長を偲んで

会長 山口 順 司

9月3日の朝、事務局から沢田会長が逝去されたとの連絡を受け、電話を切った後、しばらく茫然自失となりました。また、後日、亡くなる当日も普段と変わりなく事務局に足を運び、事務局の業務を監督されていたと聞き、改めてその急逝に言葉を失い、損失の大きさに思いを至しております。

思い起こせば、平成15年3月、当時の古橋会長から「われわれの後には、沢田さんと山口さんに頼みたい」と言われ、4月から沢田会長のもと、副会長に就任し、以来、常に沢田会長にご指導をいただきながら務めてまいりました。

沢田前会長と歩んできた13年間は、会員数・事業実績・運営などこれをとって課題が山積しており、第2次中期事業計画(平成14年度～21年度)の推進、中期事業計画(平成24年度～28年度)の策定・推進、公益社団法人への移行、また総務部会・事業部会・広報部会での施策の検討・実施などに関わってまいりました。



地域班班長会議出席



設立30周年記念式典挨拶

この間、沢田前会長には、われわれ役員や事務局の活動・業務をよく統括し、貴重なご助言も賜りました。また、当センターの重要な課題であった会員増強や普及啓発の活動にも積極的に参加され、われわれ役職員の手本と言っても過言ではありませんでした。

当センターが、事業の内容・実績や運営体制において都内有数のシルバー人材センターとなったのは、偏に沢田前会長の存在であったと改めて感じ、心より感謝する次第です。

先日、理事会で、沢田前会長の後任として会長に選定され、その重責を担うことに、改めて大きなプレッシャーを感じております。

もとより浅学非才のわたくしが沢田前会長のような指導力と包容力を発揮できるとは思いませんが、そのご遺志を引き継ぎ、役員・会員及び事務局職員の皆様とともに、今まで以上に活発かつ充実した運営を実現することが、沢田前会長のご功績に報いることと思っております。最後に、これまでのご活躍とわたくしどもへのご指導に深く感謝申し上げますとともに、皆様とご一緒にここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



たちかわ楽市参加



見守り活動参加

シルバー人材センター法制化30周年記念表彰で沢田前会長の表彰が決定しました

詳細は次号でご紹介させていただきます。

会長に山口副会長、副会長に駒津事業部会長を選定、新三役決まる

センターでは、沢田会長の逝去を受け、9月12日に臨時理事会を開催し、新たに会長に山口副会長を選定、副会長に駒津広一理事を選定しました。

なお、定款により、新たに駒津副会長が法律上の代表理事となりました。また、事業部会長は、年度途中ということもあり、駒津副会長の兼務となりました。

編集後記

会報臨時号をお届けします。沢田会長の急逝は事務局でも信じられない思いで一杯です。毎週2回、事務局を訪れ、局長以下職員の報告等を聞き、常に暖かく見守っていただいたお姿を思い出します。わたくしども事務局一同、新たな役員体制のもと、沢田前会長のご遺志を受け継ぎ、今年度を最終年度とした中期事業計画、会員増強や事業の開拓に取り組んでまいります。会員皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

(事務局)